

2026年度	科目名	教える人と対人援助職者のメンタルヘルス特論
	英語名	Advanced Seminar on Mental Health for Interpersonal Support Workers and Teachers
	科目属性	専門科目B群
	担当教員	砂田 淳一郎
	単位数	2単位(SC 0単位)

**【授業の目的・ねらい】**

現代の教育・福祉・医療などの対人援助の現場では、支援を行う教員や援助職自身のメンタルヘルスが大きな課題となっている。支援者が心身の健康を保ち、持続可能なかたちで他者と関わり続けるためには、メンタルヘルスに関する基礎的な知識やセルフケアの実践に加え、他者と協働しながら支援を行うための視点とスキルが求められる。本科目では、テキストを通読し、地域精神保健の現場における多職種連携やチーム支援の実践事例から、支援者の役割や連携のあり方、対話の重要性について学ぶ。また、支援を受ける当事者の語りに触れながら、支援者と経験専門家との関係性や、支援の意味を多角的に捉える視点を養う。さらに、支援者自身のセルフケアや自己理解の重要性についても考察を深め、教員や対人援助職としての在り方を内省する力を育む。これらの学びを通じて、メンタルヘルス・リテラシーを高め、協働的な支援を実践するための基盤を築くことを目的とする。

**【到達目標】**

この科目の具体的な到達目標は、以下の3つである。

1. 教員や対人援助職に必要なメンタルヘルス・リテラシーを理解する。
2. 多職種連携・チーム支援の意義と実践的な方法を説明できる。
3. 支援者としての自己理解を深め、セルフケアの重要性を自らの言葉で表現できる。

**【授業計画】**

- 第1回 支援職にとってのメンタルヘルスと「協働」の視点
- 第2回 地域精神保健と多職種連携の基礎理解
- 第3回 支援のつながりを考える：医療から地域への移行①
- 第4回 支援の継続性と関係性：医療から地域への移行②
- 第5回 多職種で支える：移行支援における連携の工夫
- 第6回 地域に根ざした支援のはじまり
- 第7回 チーム支援の展開と役割分担
- 第8回 対話と調整による協働の実践
- 第9回 支援の継続と終結に向けた連携の工夫
- 第10回 支援者の葛藤と学び

第11回 経験者の語りに学ぶ①: 支援を受ける立場の視点

第12回 経験者の語りに学ぶ②: 支援の意味を問い直す

第13回 経験専門家と支援者の協働

第14回 支援者自身のセルフケアと支え合い

第15回 協働的支援の実践に向けた自己理解と展望

**【評価方法】**

評価については、レポート課題(50%)、科目修得試験(50%)の割合で総合的に評価する。

**【教科書】**

下平美智代(2024)『協働するメンタルヘルス“会う・聴く・共に動く”多職種連携／チーム支援』, 金剛出版(  
ISBN:9784772420310)

**【参考図書】**

岩壁茂・福島哲夫・伊藤絵美(2025)『改訂版臨床心理学入門 多様なアプローチを越境する』, 有斐閣  
(ISBN:9784641222540)